

第14回日本看護管理学会年次大会のお知らせ

The 14th Annual Conference of the Japan Academy of
Nursing Administration and Policies

メインテーマ：「安全確保のために医療提供体制を再考する」

会期：2010年8月20日（金）・21日（土）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

会長：嶋森 好子（慶應義塾大学 看護医療学部）

事務局：第14回日本看護管理学会年次大会 運営担当

〒135-0063 東京都江東区有明3-1-22 TFTビル東館9階

株式会社 プロコムインターナショナル内

TEL：03-5520-8821 FAX：03-5520-8820

電子メール：janap14@procomu.jp

参加のお誘い

医療の質と安全確保の期待は大きくなるばかりです。また、効率的な医療の提供も期待されています。そのためにも、急性期医療から慢性期及び在宅医療へと地域連携を推進して切れ目のない医療と福祉のサービスが行われる必要があります。

そんな中で、医師不足や高度な医療を効率的に提供する観点から、看護師に求められる役割が拡大してきています。いわゆるスキルミックスとチーム医療における看護職の役割拡大です。

保健医療福祉の在り方が大きく転換する今日、看護管理者が各分野でリーダーシップを発揮することは看護職のみならず他の医療分野や国民からも期待されていることです。

しかし、その期待に十分こたえられる準備はできているでしょうか。今日の医療や福祉の現状を確認し、安全確保のためにどのような医療提供体制が望ましいか、またその中で看護管理者がどのような役割を担っていくのかをともに考える学会にしたいと思います。

看護教育機関で看護管理を教える皆さん、現場で看護管理を実践されている皆さんのご参加をお待ちしています。

大会長 嶋森 好子